夏休みを最大限に活用する勉強法は？

受験生にとって、夏はまとまった勉強時間を確保できる時期。自分自身の課題と向き合うチャンスです。効果的な勉強方法について、麻布個人指導会の先生がアドバイスします。　（協力・麻布個人指導会）

理科

吉場大祐先生

まとめノートを作り 各分野の要点を書く

理科は分野ごとの関連がそれほどなく、たとえば、てこのような力学の勉強をしているときに植物の知識をよりどる機会はありません。そのため、この時期になると単元についての知識が見ごとぬけ落ちているという受験生も見られます。

夏休みの前に、すでに学習したのに中身を忘れかけている単元がないかどうかをチェックします。まずはテキストの目次に目を通し、身につけたはずの内容を頭のなかでざっと整理します。その後で、すべての分野の要点をまとめる「まとめノート」をつくりましょう。

夏期講習が始まったら、その日に勉強した内容で重要なところを「まとめノート」に書き加えます。夏期講習を全分野のまとめ直しに活用するのです。こうした意識をもち、受け身ではなく意欲的に授業を受けましょう。秋以降も「まとめノート」への書きこみをつづければ、本番の入試まで自分の参考書ができあがります。

苦手分野の克服には、テキストや塾で配布されるプリントの読み直しから取りかかります。いきなり問題を解こうとしても丸1問できないと、自分が落ちこみ、ストレスがたまる心配があります。要点がコンパクトにまとめられた市販の参考書などを利用するのも一つの方法。新たな視点で見直すことによって、理解につながることもあります。

ただし、理科の場合、苦手分野の克服はそう簡単ではないのが実情です。理科を得意としている人から教わるのが効果的なので、個別指導や家庭教師の活用なども視野に入れてみるのもいいかもしれません。

国語

原静香先生

読解の「こつ」を確認 講習で演習を重ねる

夏期講習では長文読解の演習が中心になります。夏休みが始まる前に、塾の授業で習った読解のポイントを整理しておきます。

物語文では主人公を見つけ、その視点で内容をとらえます。主人公の心情に関係する描写には傍線を引きます。せりふには気持ちがあらわれていることが多いので、特に気を配ります。

説明文では全体のテーマをつかむことがポイント。多くの場合、書き出しの部分や前半の段落にヒントがあります。何度も出てくる言葉（用語）はキーワードの可能性が高いので傍線を引いておきます。問いかけの表現（こんな意見があるが、どうだろうか／みなさんはどう思うだろうか……など）も、テーマに直結する場合がめだちます。

筆者の主張を読み取ることも重要。後半の段落にまとめられていることが多いので注目します。

夏期講習では、こうした方法を試しながら演習に取り組みます。帰宅後に講習で取り上げられた文章を読み直すことも読解力を高めるのに役立ちます。

また、記述力を身につけるには「たくさん書く」ことが重要。記述で答える問題を解いたときは自分の解答と照らし合わせ、正解を書き写します。なかなか時間がとれない場合、休みの日にまとめて書くのも一つの方法です。

漢字の練習もおろそかにしないように。「毎朝○分」など時間を決めて取り組みます。四字熟語やことわざ、慣用句など、知識分野の勉強もそろそろスタートします。中学入試では、漢字や知識分野が合否のわかれ目になることもあります。

社会

須藤恭博先生

地理は白地図を活用 歴史は60人をマーク

この時期から夏休みが終わるまでに勉強しておきたい事がらを地理、歴史、公民それぞれについて解説します。

地理では、これまでにおぼえた地名に対して「地図上での位置」を確認します。県庁所在地や主な工業都市、川、平野、盆地、台地などを白地図に書きこみます。最近は学校の授業で、あまり白地図を使わないようですが、実際に手を動かして勉強すると、しっかり身につくといわれています。

地名を書きこむとき、それぞれの地域の農産物などもいっしょにおぼえます。また、山形県を中心に複数の盆地を流れる最上川のように、地理的に特色があるものにも注意します。

歴史では、年表を使う勉強に取り組む前に、資料集などにのっている約60人の人物について確認。それぞれの業績や、同じ時代の関連する人物をおぼえます。この60人をしっかり勉強するだけでも、政治史と文化史の7、8割がカバーできます。

また、教科書に掲載されている図表や写真、資料などもチェックします。受験生の多くが資料を題材にした出題を難しいと感じるようですが、入試で出題される資料のほとんどは教科書に出ています。必ず目を通しましょう。

公民は、抽象的な用語が多く、小学生が苦手にしがちです。「国民主権」や「議院内閣制」など、用語集の解説を読んで理解します。

夏期講習ではテキストの問題を解き終えることを目標にします。最近は書きこみ形式のテキストが増えていますが、くり返し練習できるように、解答はノートに書くことをおすすめします。

算数

西山隆先生

苦手分野は1日1題 計算練習も忘れずに

6年生の1学期は、多くの塾で相似や立体図形を勉強します。初めて習う分野ではありませんが、少しずつ難易度が高くなり、苦手意識をもつ受験生が出てきます。実際の入試でもよく出題されるので、まずは基礎を確認し、基本的な問題を確実に解けるようにします。

夏期講習はすべての分野を均等に学ぶように構成されているので、特定の単元に集中的に取り組むことはなかなかできません。苦手な分野がある場合、自分で補強する必要があります。

苦手な分野を学習するとき、細かい単元にこだわるのではなく、「速さ」「平面図形」「立体図形」といった具合に大きなくくりで取り組みます。その分野の問題を1日1題、毎日解くのがコツです。

新しい問題集などを用意するのではなく、塾のテキストやこれまでに受けたテストで、まちがえた問題を解き直すのがおすすめ。正答率が60％以上の問題でつまずくという場合、基礎にもどって確実に解けるようにすることが求められます。

得意な分野は、基礎から復習する必要はありません。難易度の高い応用問題や過去問（実際の入試問題）に挑戦してみるのもいいでしょう。

夏休みが明けると大規模な模擬試験（模試）が実施されます。模試を受けるときに注意したいのが計算ミス。それが原因で点数がのびないと志望校の合否判定でも「手ごたえ」を感じられず、自信をなくすことも……。小数や分数、単位の換算など、夏休みの間からいろいろな計算を毎日練習していけば、模試のシーズンには計算力が格段に高まっているはずです。

夏期講習で基礎固め 計画立てて苦手対策

この時期から夏休みが終わるまでの勉強で、最も重要なのは「基礎固め」と「苦手分野の克服」です。どの科目も、こうした考えで勉強を進めます。

■広く浅く総復習

多くの塾では、6年生の1学期までにひと通り、単元の学習を終えます。夏期講習は、それまでに習った単元を総復習するという位置づけです。範囲が広いので、夏期講習で難易度が高い問題に取り組むことはそう多くはありません。「広く浅く」おさらいすることから、基礎が身についているかどうかを確認するのに適しているといえるでしょう。「しっかり基礎を固めよう」という意識で講習（授業）に臨むのが効果的です。

■苦手を洗い出す

ただし、もう一つのテーマである「苦手分野の克服」は夏期講習だけではむずかしいかもしれません。通常の塾の授業で3、4回にわけて学んだ単元を夏期講習では全部まとめて1回程度で取り上げるのが一般的。苦手を克服するには、もっと時間をかける必要があります。

苦手対策の第一歩は「弱点」の洗い出しから。夏休みが始まる前に4、5年生のころに習った範囲もふくめ、これまでの取り組みをざっと見直します。つまずきやすい単元があれば、そこが苦手分野です。

自分の苦手をとらえることができたら、克服に向けての勉強計画を練ります。ポイントは大きく二つあります。

一つは「○時間勉強しよう」と勉強時間を決めるのではなく、「この時間は□□の勉強をしよう」と具体的な中身にすること。もう一つはその取り組みを実現できる内容にすること。夏期講習が始まると授業はもちろん、宿題や復習などに多くの時間をあてることになります。「あれもこれも」と欲張りすぎると集中力がつづかず、力を高めるどころか、かえって逆効果になる心配もあります。1科目につき、2、3の単元にしぼるのが目安です。

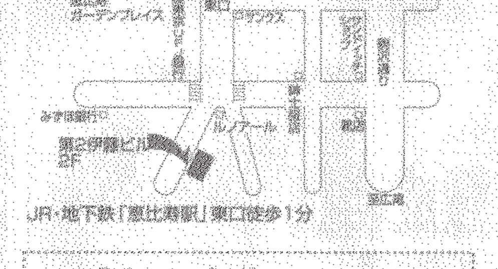
■保護者がチェック

保護者は、計画が実現しているかどうかを7～10日ごとにチェック。計画通りに進んでいないときは問題の難易度をやさしくしたり、取り組む分量を調整したりして計画を見直すようにアドバイスします。

「どうしてできないの」などと、本人にとってプレッシャーになる言葉は厳禁。たとえ、まちがえても「苦手を克服するためにがんばっている」と前向きに考え、努力していることを評価します。

中学受験専門教師による 個人指導教室併設

圧迫感のない広い個人別の空間で完全1対1の指導をします。専門教師の指導とゆったりした学習環境の理想的な組み合わせを実現しました。



講師の交代について

指導開始後に講師と相性が合わない、あるいは成績が上がらない、などの不安を感じた場合は遠慮なく教務にご相談下さい。速やかに講師を交代いたします。もちろん費用は一切かかりません。

講師の交代をきっかけに成績が上がる例も多くあります。31年間の蓄積で当会の専門家庭教師の層は厚く、後任となる講師の実力が劣ることはありません。

また、交代の場合にも体験授業がありますので、ご安心下さい。

この夏休み、努力を実力に変えて合格に近づこう！

学生は一切派遣していません

入会金不要の「夏休み集中授業」のご案内

中学受験の指導に豊富な経験と実績のある専門家庭教師が担当します。当会の専門家庭教師は長年の指導で培った数多くの“成功体験”を持っています。夏休みの指導もその成功体験を生かし、必ずムダのない効果的な指導をいたします。

（SAPIX・日能研・早稲田アカデミー・四谷大塚・栄光ゼミナール・市進学院など各塾の夏期講習のフォローもいたします）

入会金（20,000円）は必要ありません。

時間数	6時間コース	8時間コース	12時間コース	16時間コース	20時間コース
指導料	49,500円	64,800円	94,200円	122,400円	149,000円

①8月31日までの夏休み期間中のご案内になりますが、夏休み前からやお盆時期のみの受講もできます。
②上記の指導料は税別です。講師の交通費が別途（実費）かかります。
③回数と時間数は上記以外でも可能です。講師を選ぶ際、おおよその時間数のご希望をお聞きいたします。
④初回の指導終了後、伺った講師にご納得いただいた場合には、予定回数分の指導料をご請求いたします。万一、講師が合わなかった場合には、2回目から別の講師で受講していただくか、またはキャンセルすることもできます。その場合は初回の指導料のみご請求させていただきます。
⑤全ての指導終了後、追加があった場合にはその分をご請求いたします。逆に未消化分が生じた場合には、ご返金いたしますのでご安心下さい。

学生は一切派遣していません

創立31年 中学受験の専門家庭教師を派遣いたします

「通常コース」のご案内

「体験授業」と「指導料の後払い」この仕組みを実現できているのは、当会が派遣する家庭教師の力量に自信を持っているからです。

入会の制約のない体験授業

事前に申込書にご記入いただいたり、費用をいただいたりすることはありません。まず体験授業で当会の講師の実力をお確かめ下さい。
■体験授業は入会が条件ではありません。体験授業で授業内容を判断してご入会の可否をお決め下さい。体験授業の後でも入会を見送ることができます。
■体験授業は担当を予定している講師で行います。体験授業だけの講師ではありません。
■指導料、交通費、教材費等一切が無料です。
■体験授業は1時間30分ですが、前後にお話しする時間も含めて、合計2時間程度の時間をお考え下さい。

指導料は完全な後払い

●入会金 20,000円（税別）　一家庭無期限有効
●月額指導料 48,000円～72,000円（税別）［週1回（各2時間）の授業で月4回の場合］
※入会金は体験授業でご納得いただいた後のご請求です。
※指導料の幅は講師の経験や実績の差によるものです。
○指導料は月単位の完全な後払いです。翌月に行った授業時間分をご請求いたします。入会後に必要な費用は月々の指導料と講師の交通費のみで、管理費等の不明瞭な費用はありません。
○長期前納、ローン、チケット、預かり金、教材の販売、退会の場合の解約金は一切ありません。
○指導開始後、万一講師にご不満を持たれた場合は、速やかに後任の講師を人選いたします。

一人ひとりの合格こそが実績です！ 合格者のべ690名

2017年度 中学合格実績（五十音順）

男子 ＝123校のべ358名の輝くゴール＝

青山学院	2名	聖光学院	4名
浅野	4名	成城	5名
麻布	5名	世田谷学園	5名
市川	9名	専修大松戸	5名
栄光学園	2名	高輪	7名
江戸川取手	3名	中央大附属	3名
海城	9名	筑波大駒場	2名
開成	4名	東京都市大付属	6名
開智	4名	東京農大一	2名
学習院	6名	桐朋	5名
鎌倉学園	3名	東邦大東邦	8名
暁星	2名	獨協	6名
慶応湘南藤沢	2名	日大二	2名
慶応中等部	2名	広尾学園	6名
慶応普通部	3名	法政大学	3名
攻玉社	6名	法政第二	3名
国学院久我山	4名	本郷	6名
駒場東邦	6名	武蔵	2名
栄東	13名	明大明治	2名
サレジオ学院	3名	ラ・サール	4名
芝	8名	立教池袋	3名
渋谷教育渋谷	3名	立教新座	7名
渋谷教育幕張	4名	早稲田	6名
城北	6名	早稲田高等学院	2名
巣鴨	5名	早稲田実業	1名
逗子開成	3名	公立一貫校	5名
成蹊	2名	他多数合格	

（本年度男子受験生の実数は101名です）

女子 ＝124校のべ332名の輝くゴール＝

青山学院	3名	頌栄女子学院	4名
青山横浜英和	4名	女子学院	5名
跡見学園	4名	白百合学園	3名
市川	7名	成蹊	3名
浦和明の星	7名	洗足学園	4名
桜蔭	4名	専修大松戸	4名
鷗友学園	6名	中央大附属	2名
大妻	4名	中央大附属横浜	3名
大妻中野	4名	東京女学館	5名
開智	3名	東邦大東邦	7名
学習院女子	5名	東洋英和	5名
鎌倉女学院	3名	豊島岡女子	6名
吉祥女子	5名	日本女子大附属	4名
共立女子	4名	広尾学園	4名
慶応湘南藤沢	2名	フェリス女学院	2名
慶応中等部	2名	富士見	4名
恵泉女学園	4名	雙葉	3名
光塩女子学院	2名	普連土学園	4名
晃華学園	4名	三輪田学園	3名
国府台女子	3名	明大明治	4名
香蘭女学校	4名	山脇学園	5名
国学院久我山	3名	横浜共立	3名
栄東	9名	横浜雙葉	3名
実践女子学園	4名	立教女学院	3名
品川女子学院	3名	早稲田実業	2名
渋谷教育渋谷	3名	公立一貫校	5名
渋谷教育幕張	2名	他多数合格	

（本年度女子受験生の実数は87名です）

※受験まで指導しなかったケースや、夏期、冬期だけの短期の在籍生は含んでいません。

●中学受験専門家庭教師派遣
麻布個人指導会
●固定電話から 0120-14-3004
（受付時間）朝7:30～夜8:00（日・祝除く）※当会は朝7:30より業務を行っております。朝早い時間でも、ぜひご遠慮なくお問い合わせ下さい。
●携帯電話から ☎03-3440-1940
●HPで最新情報更新中 麻布個人指導会 検索
〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-13-6-2F